

## 8-4-3 ITS 専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4、5、6、7、8、10、11、12、1月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

#### (2) 勉強会・活動報告会

自動運転、ビッグデータをテーマに、有識者2名（法政大学法科大学院 法務研究科 今井教授、ナビタイムジャパン（株）交通コンサルティング事業部 梶原様、（株）トラフィックブレイン 代表取締役 太田様）をお招きし、自動運転に関しては法制度の観点、ビッグデータに関してはビッグデータのITSへの活用可能性についてのご講演を頂くと共に、協会会員企業からの参加者を交えたディスカッションを実施した。

#### (3) WG 活動

##### a) 大規模災害発生時の帰宅困難者支援のためのITSの可能性検討

平成23年に発生した東日本大震災以降に検討していた大規模災害発生時の帰宅困難者を支援するためのITSの活用可能性について、今までの検討内容を再整理した。更に災害時の情報収集・共有を実現するための技術動向の調査、自治体・企業・地域の連携事例の調査、帰宅困難者を支援する情報を提供する際のスキームやこれを実現する上での建設コンサルタントの役割等を整理し、今までの検討と併せてWGでの検討内容を取りまとめた。

##### b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する現状を昨年度に引き続き調査し、活用が想定される具体的なデータの種類やデータ活用時の課題等について調査、整理した。

- ・ ETC2.0プローブデータの活用可能性
- ・ GPS付携帯電話の活用可能性

- ・ 位置情報の個人データ利用に対する既存の意識調査結果の調査
- ・ モニターを持つWEB調査会社とタイアップした各種調査の可能性の検討

##### c) ITSを活用した次世代モビリティに関わる調査

慢性的渋滞が発生している都市部での輸送効率を高める新たな交通手段、離島や周遊観光での移動手段等として、エコでコンパクトな次世代のモビリティが期待されている。今まで実施してきた次世代モビリティの種類、導入事例、法的な位置づけや関連する事項の調査を更に推し進め、次世代モビリティに関わる今後の検討課題を整理した。

- ・ 搭乗型移動支援ロボット（Segway等）の調査、整理
- ・ 自転車に関わる最新動向の調査、整理（自転車利用推進法について）
- ・ シェアリングシステムの調査、整理
- ・ 道路空間における今後の課題の整理
- ・ 次世代モビリティに関する今後の課題の整理

### 2. 次年度の活動について

今年度、帰宅困難者に対するITSの活用可能性の検討を取りまとめたため、次年度は自動運転等に関わる最新のITSの政策、技術、課題等を幅広く情報収集する活動を実施する。その他の検討テーマは継続して実施する。

次年度は、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ ITS専門委員会が対応すべき分野横断的な諸テーマの検討
- ・ 技術委員会からの指示事項の検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（ITS専門委員会委員長 松本 章宏）